

学校向夜間釜ヶ崎(仮称)第25回

3/19 今晚7時より希望の家二階にて

テーマ 釜ヶ崎から入院できる病院の実態

悪質な病院をなくす為には皆の経験を持ち寄ろう!

近頃、京都の十全会病院の株の買い占めや、姫路の近藤病院の医療ヒホ増しによる脱税が新聞紙上をにぎわした。ところで我が釜ヶ崎で救急車で運ばれて行く病院や、福祉(市更相)で入院する病院はどうだろうか。

昨年の1月には、釜ヶ崎から多くの結核の仲間が入院していた。泉南の尾崎にある尾崎病院が2億5千万円余りの脱税の容疑で大阪国税局に摘発され

(仮称)釜ヶ崎夜間学校とは

我々が釜ヶ崎で、あるいは日雇労働者として生活している中で、誰でもがいつかは必ずぶつかる、一人の問題であると同時に皆の問題でもある仕事や病気の問題等を皆で解決していく為

ている。これが単なる脱税ならまだしも、これらの金は飯場並みの施設に患者をヤウウくつめ込み、しかも正規の取組として医師を雇わない為に通診もろくろく行わない事等にやっつけられたものである。

市更相は本当に入院して治療が必要者に対しても、自己退院壁があれば「前科」と称してなかなか入院させない。しかし、自己退院の原因として、

に先生と生徒の関係ではなく、皆が生徒で先生でもあると言う対等な関係の中で、互いの知識と経験を通して考え学び合う自由な場です。

是非多くの仲間が参加して下さい。運営にも積極的に参加して下さい。

治療よりも金もつけを優先する病院側にも問題があることを考えたことがあるのだろうか。

その意味では尾崎病院のような病院は、ほんの氷山の一角である。

他に一番身近な例として大和中央病院がある。救急車を呼ぶとほとんどが大和中央病院へ運ばれるが、院長の横山になぐられたり、少しでも暴れるとベッドにしばりつけられたりすると言うのは良く聞く話である。

この大和中央病院も江坂に新しく大きな病院を建てたと言うことであるがその影で泣かされた釜の仲間は多すぎた。

今回の夜間学校は、入院する限りは必ず直すと言う本人の意志もさることながら、直す意志をそぐような、又くいのものにする悪質な病院をなくしていく為、実際に経験のある仲間から、病院の実態について声を出してもらい話し合いたいと思う。多くの仲間の参加を待っている。

(仮称)釜ヶ崎夜間学校ニュース

第24回 報告 テーマ「心づから夜間学校」3/12

労働と生活を通して 独自の文化創造の場へ

「ひとりでも多くの仲間を」との呼びかけに夜間学校も先回で二回を教え、その間さまさまな問題が話されました。先回は今後どういうふうに進めていくだろうかを話し合いました。

差別と圧迫をテーマに

釜には大きな問題が山積してあります。仲間のひとりの問題は、みんなの問題でもあります。それをひとりでは何かしやうと思っても解決がわからなかつたり難かしかつたりして、結局「しよ」がなれないとあきらめてしまう人も少なくありません。そこでみんなで解決を考え、行動していく場をつくって、力をつけていくことが求められています。過去に話し合ったテーマは、労働と医療問題が中心です。それを

通して、いかに差別され圧迫されているかがわかりました。ただ「差別されているから何とかしてくれ」ではもはやすまされません。「差別されていることをテコとして、われわれはほりきとって立ち上がる」ことが大切との発言は夜間学校の中の課題なのです。

どたれかがる 団結より

まず自立した歩みから

団結をいくら呼びかけても、ヨーロッパやえらいさんの理論であれば「釜にはあわない」。釜独自の文化を求めて理論をつくっていくにはやあ「釜は日本の中心や」「単身でのたれ死にしろとも何も恥しいことはいない」「土着の文化をみつめることや」と、釜の労働と生活の中で、た

くましく生き続けることの証言が次々に出されました。これにみんなでおわちあうのが、まさに夜間学校なのです。今後は、労働や医療問題を追求していくと同時に、文化をとらえ表現していくことも加えていきたいと思えます。また生きがいを個人史として語ることで釜の問題を深めることも本来るでしょう。時には、親睦会もいいですなア。みんながつくるみんなのひろば」

(仮称)釜ヶ崎夜間学校

運営委員会準備会

西成区萩の茶屋二一八一—八

喜望の家内

電話(06)六四七一三九四六
(毎週木曜日夜七時—十時の間に)

